

女性アーカイブって？

リレーエッセイ第4回は、「女性アーカイブセンター」、そしてその所蔵資料の目録と一部の画像を公開している「女性デジタルアーカイブシステム」を紹介します。

女性アーカイブセンターは、2008年に開設した、国立女性教育会館（以下 ^{スエック} NWECC）の中では新しい施設です。独立した建物ではなく、女性教育情報センターと同じ本館の1階に展示室、3階に閲覧室と書庫があります。

「アーカイブ」は古い記録、そしてその保管所も示す言葉です。5月号でご紹介した女性教育情報センターでは、公に刊行された図書、雑誌、新聞記事等を収集・保存し、提供していますが、女性アーカイブセンターは、女性教育や男女共同参画施策等に関わった全国的な女性団体や女性の史資料、原則として非刊行の公私の記録（文書、音声記録、映像記録等）を収集し、提供しています。

本館1階にある展示室では、NWECC所蔵資料を紹介する所蔵展示と、テーマを定め関係機関から史資料を借用して行う企画展示を行っています。昨年度は1995年の第4回世界女性会議（北京会議）から25年の節目の年であったことから、所蔵展示「北京+25～第4回世界女性会議から25年～展」を行いました。

2019年度は、新たに受け入れた、日本国憲法第24条（両性の平等）の草案作成に携わったベア



図1 女性アーカイブセンター展示室

テ・シロタ・ゴードン氏の資料による所蔵展示「ベアテ・シロタ・ゴードン展～日本国憲法に男女平等の思いを込めて～」を4月から11月初めまで開催しました。8月には全国各地から1,200人を超える方々が参加した主催事業「男女共同参画推進フォーラム」に、ベアテさんの長女ニコール・ゴードンさんをお招きして特別講演を行いました。かつてベアテさんの講演を聴いた方々が多数参加され、展示室も人であふれたのは良い思い出です。

またその後には、2018年に発覚した医学部入試における女性差別を受け、企画展示「女性と医学展～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～」を開催しました。「女性と医学展」はオンライン展示も行っています。下記からぜひアクセスしてご覧ください。

<https://www.nwec.jp/event/archivecenter/igakuonline.html>



アーカイブの資料は購入できるものではないので、収集は寄贈が中心となります。寄贈の打診をいただいたら、どのような資料なのかについて把握し、資料選定委員会で検討し助言をいただきます。受入が決まると資料が段ボール等で送られてきます。図書のようにタイトル、著者名、発行者、発行年、ページ数などが明らかではない資料が多いので、目録をとるのもなかなか大変です。また、文書、新聞記事、写真、アルバム、ポスター、チラシ、テープ等々、形態もさまざまなので、一つ一つ形態に合わせた整理が必要です。インターネットで公開してよいという許諾がとれた資料は、予算と相談しつつデジタル化をして、「女性デジタルアーカイブシステム」で公開します。



図2 女性デジタルアーカイブシステム

このように地道な作業を続けて、「女性デジタルアーカイブシステム」はできています。ぜひアクセスして、女性、男女共同参画に関する史資料に触れてみてください。

https://w-archive.nwec.jp/il/meta_pub/G0000337warchive



(森 未知/独立行政法人 国立女性教育会館 情報課 専門職員)